

一体タイプ／横円筒型 防火水槽 施工手順



1. 設置の下準備

- コンクリートで基礎をフラットに施工（土質、地下水位の状態に応じて基礎不要）
- タンク損傷防止ゴムシートの敷き込み



2. 運搬

- 10 tトラックや低床トレーラーで一体型タンクを搬送



3. 設置

- 指定のワイヤーフックをタンクの吊り金具にかけて吊り込み
- クレーンは最低20t必要（現場にて異なる）



4. 埋め戻し

- 土砂は現地に適したもの又は発生土（掘削土）を採用し、埋め戻しに注意する。
- 埋め戻し填圧を十分にしながら水入れをする。
- 埋め戻し時、水槽直上には重機等を乗り入れしない。

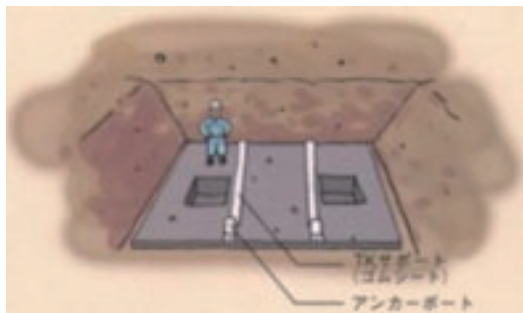


分割タイプ／横円筒型 防火水槽 施工手順



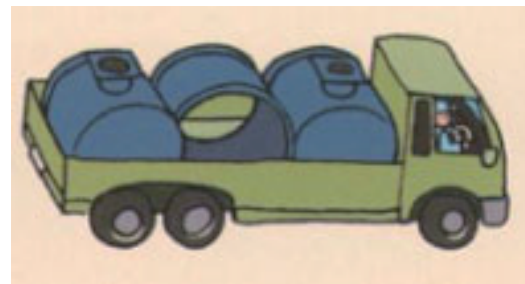
1. 設置の下準備

- コンクリートで基礎をフラットに施工
- 転倒防止金具等を設置
- タンク損傷防止ゴムシートの敷き込み※転がり防止金具はオプションです。



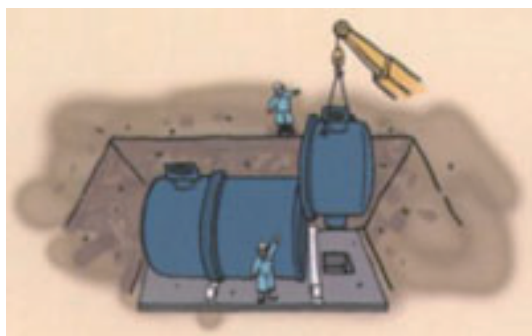
2. 運搬

- 中型（4t）トラックで、分割したタンクを搬送



3. 吊り込み

- 一体タイプと同様をタンク装着の吊り金具にかけて吊り込み
- クレーンは最低7.5t必要（現場にて異なる）



4. 組立と設置

<溶接仕様>

- 分解してあるタンクを溶接し、更に内外面FRPで一体化する。

<ボルト仕様>

- 60～100m³のみ部材を高力ボルトで結合した後に溶接し、更に内外面FRPで一体化する。



5. 埋め戻し

- 土砂は現地に適したもの又は発生土（掘削土）を採用し、埋め戻しに注意する。
- 埋め戻し填圧を十分にしながら水入れをする。
- 埋め戻し時、水槽直上には重機等を乗り入れしない。



潜函工法タイプ／縦円筒型・縦長円筒型 防火水槽 施工手順



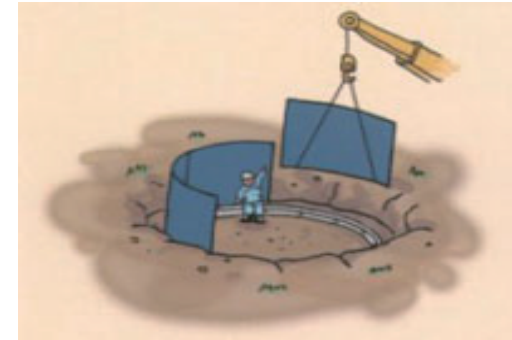
1. 設置場所の余掘・運搬

- 埋設場所をパワーショベルで余掘
- 設置面をフラットに、基面整正する
- 小型トラックで分割したタンクを搬送



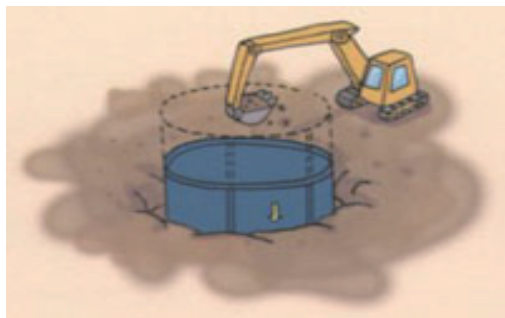
2. 吊り込み

- 一体タイプと同様をタンク装着の吊り金具にかけて吊り込み
- クレーンは最低7.5 t 必要（現場にて異なる）



3. 組立・掘削・設置

- 分解してあるタンクを溶接し、更に内外面FRPで一体化する
- パワーショベル又は、クラムシエル等で掘削し、徐々に掘り下げていく
- 所定位置迄沈下後、底板・頂板等を取付ける



4. 埋め戻し

- 土砂は現地に適したもの又は発生土（掘削土）を採用し、埋め戻しに注意する
- 埋め戻し時、水槽直上には重機等を乗り入れしない。

